音楽 CD を再生する

準備　●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ１など）

音楽CDを入れる

●自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには

[▲][▼] で再生したい曲を選び、[決定] を押す

画面を消すには

戻る を数回押す (画面を消すと、音楽の再生は停止します)

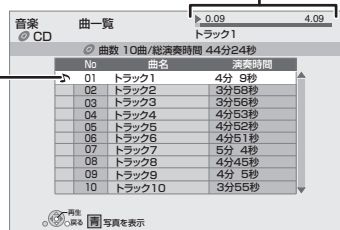
再生中の曲の経過時間/現在の再生位置/演奏時間

再生中の曲（♪を表示）

音楽　曲一覧
CD
▶ 0.09　4.09
トラック1
曲数 10曲/総演奏時間 44分24秒

	No	曲名	演奏時間
♪	01	トラック1	4分 9秒
	02	トラック2	3分58秒
	03	トラック3	3分56秒
	04	トラック4	4分53秒
	05	トラック5	4分52秒
	06	トラック6	4分51秒
	07	トラック7	5分 4秒
	08	トラック8	4分45秒
	09	トラック9	4分 5秒
	10	トラック10	3分55秒

再生　戻る　青 写真を表示

●ダビング中は再生できません。
●**初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➜105)が「入」の場合、再生中に、約10分以上本機の操作を行わなかったときは、写真のスライドショー画面が表示されます。（[戻る] を押すと、元の画面に戻ります）

音楽再生中のいろいろな操作

操作	方法	備考
停止	[■停止] **を押す**	
一時停止	[❚❚一時停止] **を押す**	●もう一度押す、または [▶ **再生**] を押すと、再生を再開します。
早送り・早戻し	[◀◀ サーチ/スロー] **または** [▶▶ スロー/サーチ] **を押す**	●[▶ **再生**] で通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。
スキップ	再生中または一時停止中に [スキップ ❙◀◀] **または** [スキップ ▶▶❙] **を押す**	●押した回数だけ曲を飛び越します。
リピート **ランダム**	**1** 再生設定 **(ふた内部)を押す** **2 [▲][▼]で「再生」を選び、[▶]を押す** **3 [▲][▼]で「リピート」または「ランダム」を選び、[▶]を押す** **4 [▲][▼]で項目を選ぶ** **リピート**：繰り返し再生の方法を選びます。 ●**切** ●**全曲**：ディスク全体 ●**1 曲**：選んだ曲のみ **ランダム**：順不同に再生します。 ●**切** ●**入**	
ナイトサラウンド	大音量の音声や小音量の音声などを調節して、夜間など音量を絞った状態でも聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。 ●音声がひずむ場合、「切」にしてください。 ●再生する内容によっては、効果が現れない場合があります。 **1** 再生設定 **(ふた内部)を押す** **2 [▲][▼]で「音声」を選び、[▶]を押す** **3 [▲][▼]で「音質効果」を選び、[▶]を押す** **4 [▲][▼]で項目を選ぶ** **ナイトサラウンド** **切**	

<table>
<tr><td rowspan="2">写真のスライドショーの表示</td><td colspan="2">音楽再生中に、[青]を押す
●スライドショーが始まります。
●写真の表示間隔は一定になり、リピート再生します。

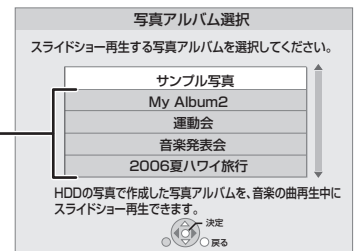
スライドショーを停止するには
[戻る]を押す
（音楽を停止したときも、停止します）</td></tr>
<tr><td>表示させる写真の変更</td><td>本機では、スライドショーで表示させる写真を、あらかじめ内蔵されているサンプル写真または HDD の「アルバム」の写真から選ぶことができます。
「アルバム」はアルバム編集で作成する必要があります。(➜80)

① スライドショー再生中に、[サブ メニュー]を押す
② [▲][▼]で「写真アルバム選択」を選び、[決定]を押す
③ [▲][▼]でアルバムなどを選び、[決定]を押す

HDD の「アルバム」を表示
●写真が 1 枚もないアルバムは表示されません。

写真アルバム選択
スライドショー再生する写真アルバムを選択してください。
サンプル写真
My Album2
運動会
音楽発表会
2006夏ハワイ旅行
HDDの写真で作成した写真アルバムを、音楽の曲再生中にスライドショー再生できます。
決定
戻る</td></tr>
</table>

フォーマットする

新品または他の機器で使っていたディスクやカード

そのままでは本機で記録できない場合があります。

フォーマットすると

本機で記録できるようになります。

DVD の場合：
フォーマットすることによって、ディスクの記録方式を設定できます。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。(パソコンデータなども含む)
すべて消去してよいか確認してから行ってください。
(番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます)

■ ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。

●デジタル放送を記録した DVD を他の機器で再生する場合は、フォーマットする前に **69 ページ**をご覧ください。

ディスクは？	記録方式は？	フォーマットが必要か？	備考
BD-RE BD-R	—	必要	記録方式の設定はありません。 どの番組でも記録できます。
RAM	VR 方式	— (ディスクによる)	市販のディスクでフォーマット済みの場合は、フォーマットを行わずに記録できます。 ●フォーマットが必要な場合は、「標準画質で記録(VR 方式)」を選んで、フォーマットしてください。
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。	
	AVCREC 方式	必要	「ハイビジョン画質で記録(AVCREC 方式)」
-R -R DL	VR 方式	必要	「標準画質で記録(VR 方式)」
	ビデオ方式	不要	フォーマットせずに記録できます。
	AVCREC 方式	必要	「ハイビジョン画質で記録(AVCREC 方式)」
-RW	VR 方式	必要	「VR 方式」
	ビデオ方式	必要	「ビデオ方式」
	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。	

それぞれの記録方式の特徴は？(➜12)

お知らせ

- ● -R -R DL 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」(**➜90**)を行うと記録方式を変更できません。
- ● RAM -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- ●本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- ●CD-R/RW、記録済みのBD-R、DVD-R、DVD-R DL はフォーマットできません。
- ● HDD フォーマットは、**初期設定**「HDD のフォーマット」(**➜104**)で行ってください。

BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW SD

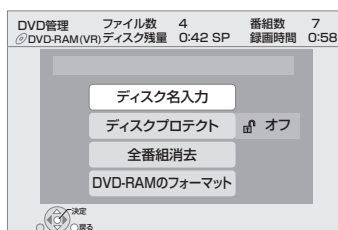
準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ1など)
●ディスクまたはSDカードを入れる。

1 停止中に、 **を押す**

2「ブルーレイ(BD)/DVD」または「SDカード」を選び、決定を押す

3「BD管理」、「DVD管理」または「カード管理」を選び、決定を押す

4 フォーマットの項目を選び、決定を押す
(➜下記へ)

例) RAM

BD-RE

BD-REのフォーマット

BD-R
●未使用のディスクのみ

BD-Rのフォーマット

5「はい」を選び、決定を押す

6「実行」を選び、決定を押す

DVD-RAM

DVD-RAMのフォーマット

ディスクのフォーマット
記録方式を選択してください。
ハイビジョン画質で記録(AVCREC方式)
標準画質で記録(VR方式)
キャンセル

5 記録方式(➜88)を選び、決定を押す

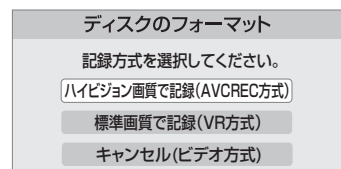
6「はい」を選び、決定を押す

7「実行」を選び、決定を押す

DVD-R
DVD-R DL
●未使用のディスクのみ

DVD-Rのフォーマット

5 記録方式(➜88)を選び、決定を押す

6「はい」を選び、決定を押す

7「実行」を選び、決定を押す

●フォーマットせずに記録した場合、記録方式はビデオ方式になります。

DVD-RW

DVD-RWのフォーマット

5 記録方式(➜88)を選び、決定を押す

6「実行」を選び、決定を押す

SDカード

カードのフォーマット

5「はい」を選び、決定を押す

6「実行」を選び、決定を押す

お願い

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。

お知らせ

●フォーマットには通常は数分(RAM 最大約70分)かかります。
RAM -RW(VR) 2分以上かかる場合のみ[戻る]を押すと中止できます。
●ディスクに汚れや傷があると、フォーマットに時間がかかったり、できない場合があります。
●SD「カード管理」の「BDビデオデータ消去」については、**49ページ**をご覧ください。

前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには
戻る を数回押す

ディスク名入力/ディスクプロテクト/全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW
（ファイナライズしたディスクではできません）

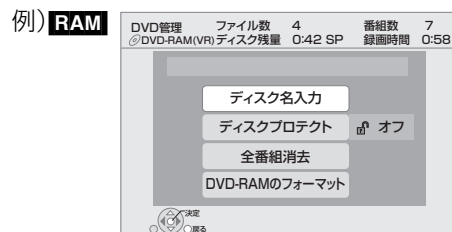
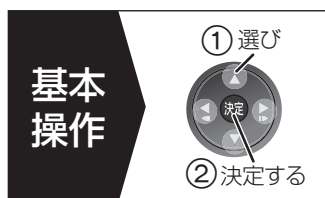
●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ１など）
●ディスクを入れる。

1 停止中に、 **を押す**

2 「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定を押す

3 「BD 管理」または「DVD管理」を選び、決定を押す

4 操作したい項目を選び、決定を押す
（➜下記へ）

例）RAM

ディスクに名前を付ける

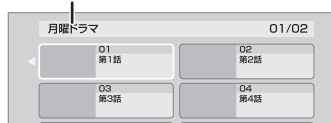
ディスク名入力

BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

文字入力については（➜92）

●-R -R DL 未使用の場合、ディスク名を入力すると、ビデオ方式になります。
VR方式や AVCREC 方式で記録したい場合は、先にフォーマットしてください。（➜88）

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。

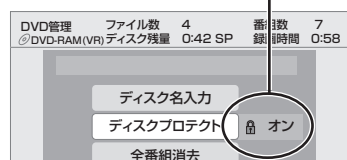
-R(V) -R DL(V) -RW(V)
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

誤消去防止の設定/解除

ディスクプロテクト

BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

5 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

プロテクト設定すると「🔒 オン」が表示

全番組の消去

全番組消去

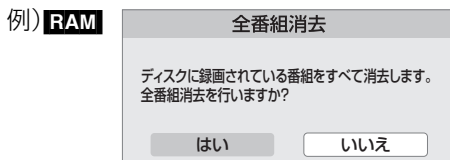
BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

音声ガイド対応

実行すると元に戻すことはできません。

例）RAM

全番組消去
ディスクに録画されている番組をすべて消去します。 全番組消去を行いますか?
はい　いいえ

5 「はい」を選び、決定を押す

6 「実行」を選び、決定を押す

お知らせ

●全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
●プロテクトを設定した番組がある場合は、消去できません。
●BD-RE RAM 写真や音楽データは消去されません。
●BD-R -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC)
消去しても残量は増えません。

前の画面に戻るには

 を押す

画面を消すには

 を数回押す

他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)

本機で記録したディスクを他の機器で再生する場合

ファイナライズ すると

DVD プレーヤーなどで再生できます。
ファイナライズ後、記録状態によっては
他の機器で再生できない場合があります。

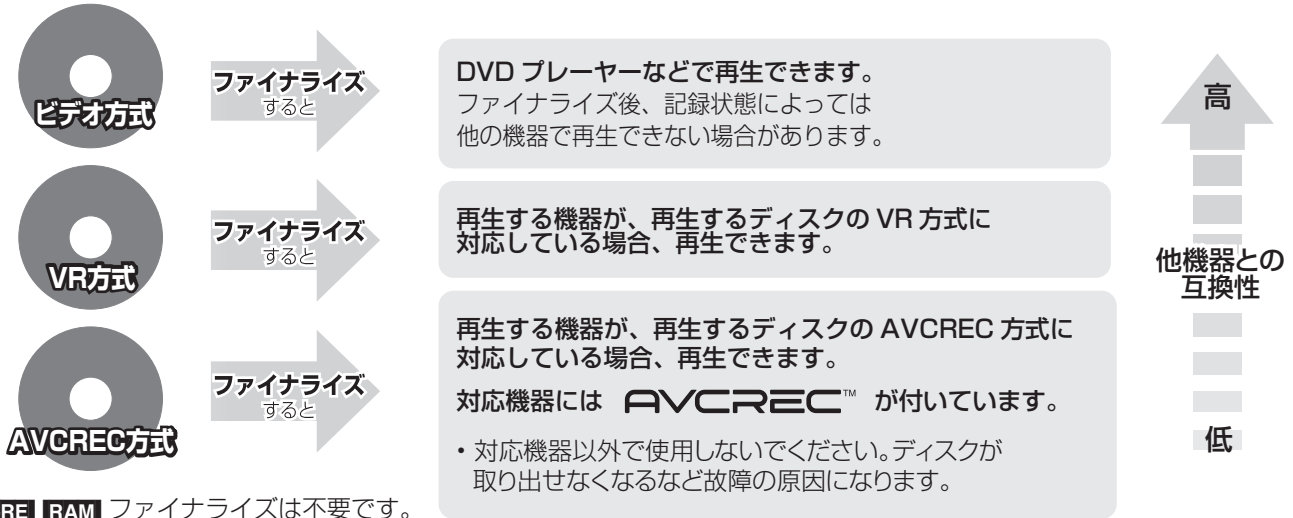
ファイナライズ すると

再生する機器が、再生するディスクの VR 方式に対応している場合、再生できます。

ファイナライズ すると

再生する機器が、再生するディスクの AVCREC 方式に対応している場合、再生できます。

対応機器には AVCREC™ が付いています。

・対応機器以外で使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。

BD-RE RAM ファイナライズは不要です。

90ページ手順1～4のあとに操作します。

メニュー画面の背景の設定

トップメニュー

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

5 お好みの背景を選び、決定を押す

●トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。(➜52「サムネイル変更」)

再生の始まりかたの設定

ファーストプレイ選択

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生の始めかたを設定できます。

5 「トップメニュー」または「タイトル1」を選び、決定を押す

トップメニュー　:番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル1　:先頭の番組から再生する

ファーストプレイ選択
トップメニュー
タイトル1

BD/DVD機器で再生できるようにする

他のDVD機器再生(ファイナライズ)

-R -R DL -RW

他のBD機器再生(ファイナライズ)

BD-R

5 「はい」を選び、決定を押す

6 「実行」を選び、決定を押す

●ファイナライズは、数分から最大約60分かかります。(実行中は中止できません)
●高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。(最大約4倍)

他のDVD機器再生(ファイナライズ)
ファイナライズを行うと、他のDVD機器で再生できるようになります。
ファイナライズ後は再生専用となり、録画や編集等ができなくなります。
ファイナライズを行いますか?
はい　いいえ

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

ファイナライズすると…

●再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
・-RW(V) フォーマット(➜88)すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
・-RW(VR)「ファイナライズ解除」(➜ 下記)を行うと、記録や編集ができます。

お知らせ

●本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。

ファイナライズの解除

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

●-RW(V) は解除できません。
●本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

5 「はい」を選び、決定を押す

6 「実行」を選び、決定を押す

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

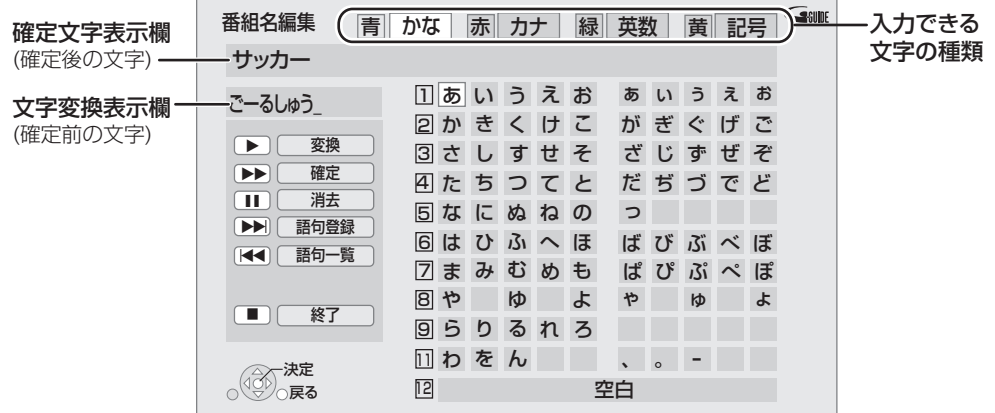
戻る を数回押す

文字入力

本機では、番組名の入力やフリーワードの入力など、場合により入力方法が異なります。表示された画面に従って文字入力を行ってください。

番組名、ディスク名、写真のアルバム名などを入力するとき

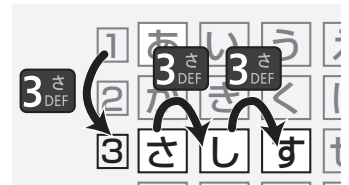
画面に表示された文字パネルを使って入力する

●JIS 第 1 水準の漢字コードのみ入力可能

1 [青][赤][緑][黄]で文字の種類を選び、[決定]を押す
●漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。

2 [▲][▼][◀][▶]で入力する文字を選び、[決定]を押す
●この手順を繰り返し、文字を入力します。

3 入力が終わったら、[■停止]を押す

4 [◀][▶]で「保存」を選び、[決定]を押す

数字ボタン[1]～[9]、[11]、[12]でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合

1 [3]を押す
●「さ」行に移動します。

2 [3]を2回押し、[決定]を押す
●「す」が文字変換表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する	[▶▶] を押す
ひらがなを漢字変換する	[▶ 再生] を押して[▲][▼]で変換候補を選び、[決定]を押す ●[戻る]を押すと、入力画面に戻ります。
文字を消す	[❚❚ 一時停止] を押す
よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去	**語句を登録する** ① 語句を入力したあと、[▶▶❘] を押す ② [◀][▶] で「登録」を選び、[決定]を押す **語句を呼び出す** ① [❘◀◀] を押す ② [▲][▼][◀][▶] で語句を選び、[決定]を押す **語句の消去** ① [❘◀◀] を押す ② [▲][▼][◀][▶] で語句を選び、[サブ メニュー]を押す ③ [▲][▼]で「語句消去」を選び、[決定]を押す ④ [◀][▶] で「消去」を選び、[決定]を押す

入力できる文字数

ディスクなど	種類	英数	その他	ディスクなど	種類	英数	その他
HDD	番組名	64	32	-R(V) -R DL(V) -RW(V)	番組名	44	22
	写真のアルバム名	36	18		ディスク名	40	20
RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	番組名	64	32	BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)	番組名※	254	127
	写真のアルバム名（RAM(VR) のみ）	36	18		写真のアルバム名（BD-RE RAM(AVCREC) のみ）	36	18
	ディスク名	64	32		ディスク名	254	127

※ 予約番組の番組名　英数：64 文字　その他：32 文字

フリーワード検索などで入力するとき

リモコンボタン方式で入力する

●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードのみ入力可能

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。

1 [1]～[12]（ふた内部）で文字を入力する

例）「えいが」と入力するとき

[1]	▶	[1]	[2]	[10]
4回押す（え）	1回押す	2回押す（い）	1回押す（か）	1回押す（ ゛）

えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。(➜ 下記)

☞ **漢字に変換するには**
[▲][▼]で変換候補を選び、**[決定]**を押す

映画
栄華
頴娃が
英が
瑛が

2 [決定]を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

映画 ― カーソル

3 [◀][▶]で「登録」を選び、[決定]を押す

文字の種類を変換する	**[緑]** を押して文字の種類を選び、**[決定]**を押す ●**[緑]** を押すごとに、（かな → カナ → 英数 → 数字）に切り換わります。 ●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。
同じボタンで続けて入力する	**[▶]** でカーソルを右に移動させる 例）「あい」と入力する場合 : **[1][▶][1][1]** の順に押す
文節を分けて変換する	例）「えいが」の「えい」だけを変換する場合 : ① 「えいが」と入力して、**[▼]**を押す（映画） ② **[◀]** を押して「えい」だけを選ぶ（えいが） ③ **[▲][▼]**で変換候補を選び、**[決定]**を押す（映が）
記号を入力する	① “きごう”と入力する ② **[▲][▼]**で変換候補を選び、**[決定]**を押す
文字を追加する	**[◀][▶]** でカーソルを移動させたあと、文字を入力する （カーソルの左に文字が追加されます）
文字を消す	**[◀][▶]** でカーソルを移動させたあと、**[黄]**を押す（カーソルの文字が削除されます）

リモコンボタン方式での入力文字一覧表

入力モード / ボタン	かな											カナ											英数												数字
[1]	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	1	@	.	/	:	~	_	1						1
[2]	か	き	く	け	こ	2						カ	キ	ク	ケ	コ	2						a	b	c	A	B	C	2						2
[3]	さ	し	す	せ	そ	3						サ	シ	ス	セ	ソ	3						d	e	f	D	E	F	3						3
[4]	た	ち	つ	て	と	っ	4					タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	4					g	h	i	G	H	I	4						4
[5]	な	に	ぬ	ね	の	5						ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	5						j	k	l	J	K	L	5						5
[6]	は	ひ	ふ	へ	ほ	6						ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	6						m	n	o	M	N	O	6						6
[7]	ま	み	む	め	も	7						マ	ミ	ム	メ	モ	7						p	q	r	s	P	Q	R	S	7				7
[8]	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ	8					ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	8					t	u	v	T	U	V	8						8
[9]	ら	り	る	れ	ろ	9						ラ	リ	ル	レ	ロ	9						w	x	y	z	W	X	Y	Z	9				9
[10]	、	。	?	!	・	(	)	0				、	。	?	!	・	(	)	0				―	,	;	'	"	?	!	(	)	&	¥	0	0
[11]	わ	を	ん	ゎ	ー	スペース						ワ	ヲ	ン	ヮ	ー	スペース						スペース												*
[12]	改行											改行											改行												#

●ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例:「い」を入力するときは **[1]** を 2 回押す）
●フリーワード検索では、英数で文字入力した場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。
●濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて **[10]** を押してください。

お知らせ

●入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
●表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

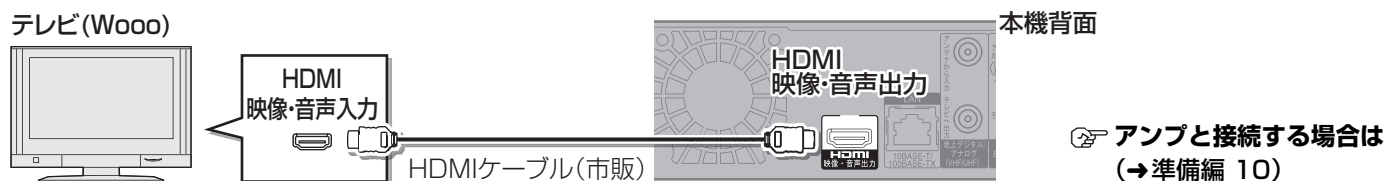
Wooo リンクを使う

Wooo リンク(HDAVI Control™) とは

- 本機と HDMI ケーブル(市販)を使って接続した Wooo リンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン 1 つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
  ※すべての操作ができるものではありません。
- Wooo リンクは、HDMI CEC(Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- Wooo リンクに対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。

接続

本機と Wooo リンクに対応した当社製テレビ(Wooo)を HDMI ケーブルで接続する(➜準備編 4)

アンプと接続する場合は
(➜準備編 10)

設定

① **初期設定「Wooo リンク制御」(➜106)を「入」にする**(お買い上げ時の設定は「入」)

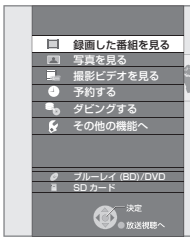
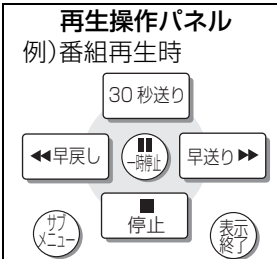
② **接続した機器側(テレビなど)で、Wooo リンクが働くように設定する**

③ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

Wooo リンクを使わない場合は
初期設定「Wooo リンク制御」(**➜106**)を「切」にする

Wooo リンク に関する質問

Q（質問）		A（回答）
お使いのテレビやアンプがWooo リンク対応かわからないときは？		機器の取扱説明書をご覧ください。
Wooo リンクでできる機能は？		●Wooo リンクに対応したテレビ（Wooo）と接続している場合は、以下の操作を行うことができます。 ・本機で再生すると、テレビの電源が自動的に入り、入力が切り換わります。 ・テレビの電源を切ると、本機の電源も自動的に切れます。 ・テレビのリモコンで本機を操作することができます。
テレビ（Wooo）側から録画（「レコーダー録画開始」など）をしたとき		
	録画モードや録画先は？	本機であらかじめ設定された録画モードでHDDに録画します。
	録画ができないときは？	●すでに本機が「レコーダー録画開始」を実行しているときは、新たに「レコーダー録画開始」はできません。 ●本機に契約されたB-CASカードが挿入されていないとき。
Wooo リンクが働かなくなった場合は？		●設定を確かめてください。（➜128「Wooo リンクが働かない」）

Wooo リンクを使う(つづき)

表示マークについて

(本機のリモコン) :本機のリモコンで操作できます。
(テレビのリモコン) :テレビのリモコンで操作できます。

自動的にテレビの電源を入れ、入力を切り換える
●テレビの電源が待機状態のときのみ
(本機のリモコン)

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現われます。

本機電源入時						
本機電源切時						

自動的に本機の電源を切る
(本機のリモコン) (テレビのリモコン)

●リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。
(ダビング、ファイナライズ、消去、**[録画●]**を押して録画などの実行中は切れません)
Wooo リンクに対応したアンプとHDMIケーブルで接続している場合は、アンプの電源も切れます。

テレビのリモコンで本機の操作
(テレビのリモコン)

テレビの操作はテレビの取扱説明書をご覧ください。

1 テレビのリモコンを使って、Wooo のスタート画面を表示させる

●テレビによって、Wooo の**スタート画面**を表示させる方法や画面は異なります。(「レコーダー操作一覧」を選んで表示させる場合もあります)
●自動的に本機の電源も入ります。

スタート画面について(➜117)

スタート画面

2 テレビのリモコンで操作したい項目を選び、[決定]を押す

「再生操作パネル」を使って操作する

「再生操作パネル」表示中はテレビのリモコンで早送り･早戻し(サーチ)、停止などの操作ができます。

[サブ メニュー]を押す

●「再生操作パネル」が表示されます。
●**[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブ メニュー]**で操作することができます。

再生操作パネル
例)番組再生時

30 秒送り
◀◀早戻し　一時停止　早送り▶▶
サブメニュー　停止　表示終了

●音楽再生時は「再生操作パネル」は表示されません。画面表示に従って操作してください。

音楽の再生を止める
[戻る] を数回押す
テレビのリモコンに Wooo の**停止ボタン**がある場合は、Wooo に向けて**停止ボタン**を押して再生を止めることができます。

テレビのリモコンで操作できるボタンは?
[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブ メニュー]と色ボタン
数字ボタンなどの上記以外のボタンを使って操作するときは、本機のリモコンを使用してください。

記載していない機能については、接続した機器(テレビなど)の取扱説明書をご覧ください。

別の部屋のテレビなどで再生する

HDD

LAN 端子でネットワーク接続した DLNA 対応機器から本機の HDD に録画した番組を再生することができます。
●本機から DLNA 対応機器にある番組などを再生することはできません。

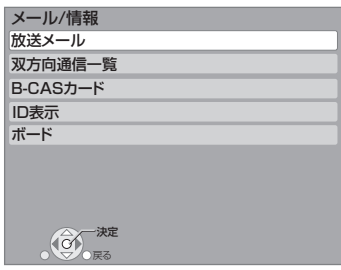
準備 ●ネットワーク接続と設定をする。(➜ 準備編 14、準備編 36)
●ホームサーバー設定をする。(➜ 準備編 38)

DLNA 対応機器から再生する

ホームサーバー機能

DLNA対応当社製テレビ
・XP800/XP770/WP770/XP03/HP03/WP03

ネットワーク接続した DLNA 対応の機器から本機の HDD に録画した番組を再生することができます。
●番組の一覧画面や再生可能な番組、再生方法などは接続した機器によって異なります。操作方法は接続した機器の説明書をご覧ください。
●編集はできません。

接続した機器で、本機の番組を選び、再生を始める

●再生中の操作は、接続した機器の操作方法に従ってください。

お知らせ

●ディスクまたは写真を再生することはできません。
●以下の場合、再生できません。
・デジタル放送を記録した XP、SP、LP、EP、FR モードの番組
・i.LINK(TS) 入力から録画した番組
・録画中の番組
●本機が以下の操作中の場合、再生できません。
・2 番組同時録画中
・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
・高速ダビングと録画の同時実行中
・初期設定画面表示中
・ネットワークを利用する機能を使用中　など
●2 台以上の機器で同時に再生することはできません。
●再生中に本機を操作して初期設定画面を表示すると、再生を終了します。

いろいろな情報を見る(メール/情報)

放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

放送メール	放送メールには、放送局からのお知らせ(最大31通まで保存)や、本機の機能向上のためのダウンロード情報(最新の1通のみ保存)などがあります。 **[▲][▼]で確認したいメールを選び、[決定]を押す** ●ダウンロード情報が届いたときは、画面の下部にダウンロード予約ボタンが表示されます。予約を「する」または「しない」を選んでください。 「する」を選んだ場合、メールに記載されているダウンロード開始時刻の約5分前には、電源を切っておいてください。 ※ ダウンロード予約の設定が「自動」の場合は、ダウンロード予約ボタンは表示されず、自動的にダウンロードが行われます。 **ダウンロード予約の設定については(➜準備編 31)** ●ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。 ●メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。 ●メールの送信や返信はできません。
双方向通信一覧	データ放送で電話回線を利用した履歴などを確認します。
B-CASカード	契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CASカードの番号が必要な場合に使用します。
ID表示	本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。 **その他の情報を見るには** ●[青]: 本機のソフト情報を表示 ●[赤]: データ放送時のルート証明書情報を表示
ボード	110度CSデジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。 ① **[▲][▼]で「CS1 ボード」または「CS2ボード」を選び、[決定]を押す** ② **[▲][▼]で確認したい情報を選び、[決定]を押す** ボード CS1 ボード CS2 ボード

放送設定を変える（放送設定）

必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

放送設定の基本操作

1 停止中に、[スタート] を押す

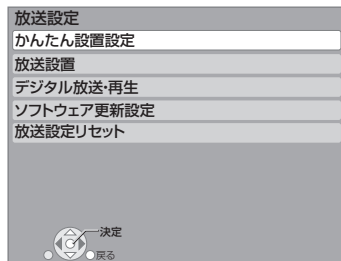
2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「放送設定」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]でメニューを選び、[決定]を押す

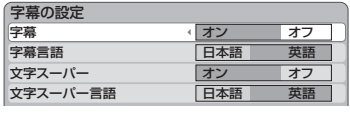
5 [▲][▼]で設定項目を選び、[決定]を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [◀][▶]で設定内容を変更する

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

●操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
かんたん設置設定	かんたん設置設定（➜準備編 43）	→[決定]を押して、さらに設定します。
放送設置	受信対象設定 使わない放送を操作できないようにします。 ●地上デジタルは設定できません。	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上アナログ /BS/CS	▶使う　▶使わない
	チャンネル設定（➜準備編 40～42）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上アナログ/地上デジタル/BS/CS1/CS2	
	番組表設定（➜準備編 29）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	Gガイド地域設定	▶札幌～沖縄
	Gガイド受信確認	Gガイド受信スケジュールを確認できます。
	地域設定（➜準備編 31）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	県域設定	▶東北海道～沖縄県
	郵便番号	――― - ――――（郵便番号）
	地域設定削除	▶はい　▶いいえ
	受信設定（➜準備編 32 ～ 33）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上デジタル	→[決定]を押して、さらに設定します。
	アッテネーター	▶オン　▶オフ
	物理チャンネル選択 物理チャンネル（➜準備編 32）を指定してアンテナレベルを確認します。	▶物理チャンネル入力　–– CH
	衛星	→[決定]を押して、さらに設定します。
	アンテナ電源	▶オン　▶オフ 「オン」にした場合、テレビ側の衛星アンテナ電源も「入（オン）」にしてください。
	アンテナ出力 本機の BS･110 度 CS アンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。	→[決定]を3秒以上押して、さらに設定します。 ▶オン　：常に信号を出力します。 （通常は「オン」のまま使用してください） ▶オフ　：本機の電源「切」時に信号を出力しないため、テレビなどで、BS･110 度 CS デジタル放送を視聴できません。
	トランスポンダ選択	BS-1～BS-15、CS-2～CS-24
	衛星周波数	――.―――― GHz （放送局からの案内がない限り、変更しないでください）

放送設定を変える（放送設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
放送設置（つづき）	**電話設定（➜準備編 39）**	→［決定］を押して、さらに設定します。
	回線設定	▶自動　▶プッシュ　▶ダイヤル 20　▶ダイヤル 10
	トーン検出 「回線設定」（➜上記）が「自動」以外のときに設定できます。	▶する　▶しない
	内線設定	ーーーーーーーー（内線番号）
	電話テスト	ーー
	発信者番号通知	▶指定なし　▶通知する　▶通知しない
	電話会社設定	ーーーーーーーー（電話会社番号）
	マイラインプラス 「電話会社設定」（➜上記）を設定したときのみ設定できます。	▶解除する　▶解除しない
	B-CASカードテスト（➜準備編 31）	ーー
デジタル放送・再生	**字幕の設定** デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。 録画モード「DR」以外で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。	→［決定］を押して、さらに設定します。 字幕の設定 字幕　オン　オフ 字幕言語　日本語　英語 文字スーパー　オン　オフ 文字スーパー言語　日本語　英語 ●放送に設定した内容が含まれていない場合は設定通りに表示されません。 ●強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。 ●地上アナログ放送の文字放送（字幕）は見られません。
	字幕	▶ オン　▶オフ
	字幕言語	▶日本語　▶英語
	文字スーパー	▶オン　▶オフ
	文字スーパー言語	▶日本語　▶英語

リモコンの数字ボタンに割り当てられた放送局（2009年 4月現在）

●地上アナログ放送（➜準備編 42）
●地上デジタル放送（➜準備編 40）

● BSデジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHKハイビジョン
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日
6	161	BS-i
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ
9	191	WOWOW
10	200	スター･チャンネル
11	211	BS11 デジタル
12	222	TwellV

● CS1（スカパー! e2）

番号	チャンネル	放送局名
1		
2		
3		
4		
5	055	ショップチャンネル
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

●CS2（スカパー! e2）

番号	チャンネル	放送局名
1	100	e2 プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS映画
4	147	CS 日本番組ガイド
5		
6	160	C-TBSウェルカム
7	177	ショップチャンネル
8	258	フジテレビ739
9	194	インターローカルテレビ
10	101	宝塚プロモチャンネル
11	290	SKY･STAGE
12	238	スター･クラシック

●放送局名やチャンネル番号は、実際の表示と異なる場合があります。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
デジタル放送・再生(つづき)	**制限項目設定**	→[決定]を押して、さらに設定します。 暗証番号登録 視聴制限を利用するには暗証番号登録が必要です。 暗証番号を入力してください。 青 赤 緑 黄 1文字削除 1 ～ 10 番号入力 戻る **画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号(4けた)を入力する** ●10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。 ●初めて入力するときは番号を2回入力し、登録します。暗証番号は、忘れないでください。 ●暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。 お知らせ ●**暗証番号は自由にお決めいただけます。もし忘れた場合は、契約されている各委託放送事業者にお問い合わせください。**
	視聴可能年齢 ●視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。 ●年齢制限を超える番組は、番組表(Gガイド)などで「･･･」と表示されます。	▶**無制限**　▶**4才～19才(1才刻み)**
	暗証番号変更	●「視聴可能年齢」の設定は残ります。
	暗証番号削除	●「視聴可能年齢」の設定はお買い上げ時の設定に戻ります。
	設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。 暗証番号を入力してください。	●暗証番号を入力すると、番組が映ります。 ●「視聴可能年齢」の場合は、一度暗証番号を入力すると、電源を「切」にするまで見ることができます。
	選局対象 デジタル放送で[**チャンネル∧,∨**]を押して順送りできるチャンネルを設定できます。	▶**設定チャンネル**：チャンネル設定で設定されているPo1～36までのチャンネル ▶**テレビ**：テレビ放送(映像＋音声) ▶**ラジオ**：ラジオ放送(音声) ▶**データ**：データ放送 ▶**<u>すべて</u>**：受信できるすべてのチャンネル
ソフトウェア更新設定	**ダウンロード予約(➜準備編 31)** デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。	▶**<u>自動</u>**：電源「切」時に、自動的にダウンロードします。 ▶**手動**：情報が届いた場合、メールで知らせます。**(➜98「放送メール」)**
放送設定リセット	**設定項目リセット** 「アンテナ電源」「アンテナ出力」**(➜99)**と「電話設定」**(➜100)**をお買い上げ時の設定に戻します。	→[決定]を押して、さらに設定します。 ▶**はい**　▶**<u>いいえ</u>**
	個人情報リセット 時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。 また、本機に記録されているお客様の個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)や、予約内容も消去します。 廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。	→[決定]を3秒以上押して、さらに設定します。 ▶**はい**　▶**<u>いいえ</u>** お知らせ ●双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。 ●HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、**初期設定**「HDDのフォーマット」**(➜104)**を行ってください。

本機の設定を変える(初期設定)

必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

初期設定の基本操作

1 停止中に、[スタート]を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]でメニューを選び、[決定]を押す

5 [▲][▼]で設定項目を選び、[決定]を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [▲][▼][◀][▶]で設定内容を選び、[決定]を押す

初期設定
設置
HDD／ディスク
映像
音声
画面設定
テレビ/機器/Woooリンクの接続
ネットワーク通信設定
決定
戻る

前の画面に戻るには

[戻る]を押す

画面を消すには

[戻る]を数回押す

●操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
設置	自動電源〔切〕 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	▶2時間 ▶6時間 ▶切 時間を設定すると、本機の動作(録画やダビングなど)が終了してから2時間後または6時間後に、電源が切れます。
	リモコンモード(➜準備編 35)	▶リモコン1 ▶リモコン2 ▶リモコン3
	ワイドモード(➜準備編 26) テレビのS映像入力端子に合わせて出力を設定します。	▶S1 ▶S1/S2 :「S1」または「S2」のとき ▶切 :「S」、またはテレビ側のワイドテレビの画面設定の切り換え機能を作動させたくないとき
	時刻合わせ(➜準備編 34)	▶(年/月/日/時/分) ▶自動時刻チャンネル
	音声ガイドの出力 「おまかせダビング」などの実行時に、音声で操作ガイダンスを行います。	▶入:本書の[音声ガイド対応]マーク部で働きます。 ▶切
	クイックスタート 電源「切」状態からの起動を高速化します。 例 :番組表(Gガイド)を約1秒で表示します。 (映像端子またはS映像端子接続時) ●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。 以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」になります。 ●「ホームサーバー機能」(➜107):「入」	▶入 ▶切 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 ●待機時消費電力が増えます。 ●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(1週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に"PLEASE WAIT"と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。) ●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。
	初期設定リセット 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 ただし、以下の設定は戻りません。 ・時刻 ・DVD-Videoの視聴制限 ・BD-Videoの視聴可能年齢 ・IPアドレス/DNS設定 ・プロキシサーバー設定	▶する ▶しない 本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定(リモコン1)に戻ります。リモコンが働かなくなった場合は(本体表示窓に"U30"と表示)、リモコンモードを変更してください。(➜準備編 35、119)

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
HDD／ディスク	**再生設定（再生専用ディスク）**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	DVD-Video の視聴制限 DVDビデオの視聴制限ができます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号（4けた）を入力してください。※	▶ **レベル8 すべて視聴可**：すべての DVD ビデオが視聴可 ▶ **レベル7～1**：制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可 ▶ **レベル0 すべて視聴不可**：すべての DVD ビデオが視聴不可 ▶ **ロック解除** ▶ **暗証番号変更** ▶ **レベル変更** ▶ **一時解除**
	BD-Video の視聴可能年齢 BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号（4けた）を入力してください。※	▶ **無制限**：すべての BD ビデオが視聴可 ▶ **254 歳～0 歳**：年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可 ▶ **ロック解除** ▶ **暗証番号変更** ▶ **視聴可能年齢変更** ▶ **一時解除**
	BD-Live インターネット接続 BD-V BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1] ～ [10]で「BD-Video の視聴可能年齢」（➜ 上記）で入力した暗証番号（4けた）を入力してください。※	▶ **有効**：すべてのBD-Liveコンテンツに対してインターネットへの接続を許可する ▶ **有効（制限付き）**：BD-Liveコンテンツ制作者の証明書が含まれているときのみインターネットへの接続を許可する ▶ **無効**：すべてのBD-Liveコンテンツに対してインターネットへの接続を許可しない
	音声言語 再生時の音声を選びます。	▶ **日本語** ▶ **英語** ▶ **オリジナル**（ディスクの最優先言語で再生） ▶ **その他＊＊＊＊** ＊には [1]～[10] で言語番号（➜129）を入力 選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。
	字幕言語 再生時の字幕言語を選びます。	▶ **オート**： 「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶ **日本語** ▶ **英語** ▶ **その他＊＊＊＊**
	メニュー言語 テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶ **日本語** ▶ **英語** ▶ **その他＊＊＊＊**
	AVCHD 優先モード BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ハイビジョン画質の番組と他機器でダビングしたハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。	▶ **入**：ハイビジョン動画（AVCHD）を再生 ▶ **切**：ハイビジョン画質の番組を再生
	記録設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	EP時の記録時間 録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。	▶ **6時間**：4.7 GBディスクに6時間記録 ▶ **8時間**：4.7 GBディスクに8時間記録
	高速ダビング用録画 -R(V) -R DL(V) -RW(V) 高速ダビングできるようになります。ただし制限があります。（➜ 右記） 「切」にすると、右記の制限はかかりませんが、上記ディスクへの高速ダビングはできません。 ●以下の場合に有効 ・地上アナログ放送や外部入力、DV入力から記録 ・ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）をダビングするとき	▶ **入**：高速ダビング対応にする ●記録される番組は以下の設定に従い記録されます。 ・画面サイズ：「ビデオ方式の記録アスペクト」（➜下記） ・二重放送の音声：「二重放送音声記録」（➜105） ●アナログ放送受信中の音声は切り換えできません。 ・「二重放送音声記録」（➜105）で設定した音声が出力されます。 ▶ **切** ●コピー制限のある番組は、設定にかかわらず「切」の状態で記録されます。
	ビデオ方式の記録アスペクト 記録時のアスペクトの設定をします。 以下の記録時に有効 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) への記録時 ●「高速ダビング用録画」（➜上記）が有効なとき	▶ **オート**：番組の記録開始時のアスペクトに従って記録します。 ▶ **4:3** ▶ **16:9** ●録画モード「EP」、「FR（EPモード相当の画質）」での記録時は、設定にかかわらず4:3で記録されます。
	DVDの高速ダビング速度 高速モードでのダビング速度を設定します。 （高速記録対応ディスクの場合など）	▶ **最高速モード** ▶ **高速モード** ▶ **静音モード** 「最高速モード」「高速モード」「静音モード」の順でダビング時の動作音は小さくなりますが、ダビングの所要時間は長くなります。
	自動チャプター デジタル放送録画時にCMなどで自動的にチャプターを作成する設定をします。	▶ **入** ▶ **切** ●録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

※ 暗証番号は共通です。**暗証番号は忘れないでください。**

本機の設定を変える(初期設定)(つづき)

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
HDD/ディスク(つづき)	HDD設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	HDD 管理	→[決定]を 3 秒以上押して、さらに設定します。
	全番組消去 番組をすべて消去します。 音声ガイド対応	▶はい →[決定]を押して、さらに「実行」を選びます。 ▶いいえ
	HDD のフォーマット HDD の初期化を行います。 音声ガイド対応	▶はい →[決定]を押して、さらに「実行」を選びます。 ▶いいえ
映像	**スチルモード** 一時停止中の画像の表示方法が選べます。	▶オート ▶フィールド:動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるとき ▶フレーム :「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 部分消去した部分などの再生する状態が選べます。(DRモードの番組やAVCHDの動画には、この設定は無効)	▶入:なめらかに再生(早送り中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります。) ▶切:精度よく再生(つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります)
	HDノイズフィルター ざらつきが少なく柔らかい画像にします。 「D端子出力解像度」(➜106)が「D3」「D4」のとき、または「HDMI出力解像度」(➜106)が「480p」以外のときに、ハイビジョン信号に対して有効	▶入 ▶切
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶オート(Dolby TrueHD の音声のみ有効。コンテンツ意図に従う) ▶入(Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD の音声に有効) ▶切
	デジタル出力	→[決定]を押して、さらに設定します。
	Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD DTS/DTS-HD AAC 出力信号 (Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS Digital Surround、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio) を、接続機器側で処理を行う "Bitstream" で出力するか、本機で "PCM" に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream :接続機器がそれぞれの音声をデコードできるとき ▶PCM :接続機器がそれぞれの音声をデコードできないとき それぞれの音声をデコードできるかどうかは、接続した機器の説明書をご覧ください。 ●HDMI端子の音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれると、接続機器の仕様により設定どおり出力されない場合があります。(例:テレビと HDMI 端子で接続した場合、本機の HDMI 音声出力はダウンミックス 2 ch に制限されます) ●正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。 **デジタル出力される音声と接続・設定の関係(➜108)**
	BD ビデオ副音声・操作音 (副音声を含む BD-V) BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。	▶入:サンプリング周波数は 48 kHz に変換されます。 上記で「Bitstream」を選ぶと、副音声を含む BD ビデオ再生時は、Dolby Digital または DTS の Bitstream に変換します。 ●再生するディスクによっては、7.1 c h で音声出力できない場合があります(➜108) ▶切:オリジナルの音声方式を出力するとき

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
音声(つづき)	**PCMダウンサンプリング変換** サンプリング周波数96 kHzまたは88.2 kHzで収録された音声を48 kHzまたは44.1 kHzに変換する(「入」)かしない(「切」)かを選びます。	▶**入**:96 kHzまたは88.2 kHzに非対応の機器に接続 ▶**切**:96 kHzまたは88.2 kHzに対応した機器に接続 以下の場合、設定にかかわらず48 kHzまたは44.1 kHz に変換されます。 ・「BD ビデオ副音声・操作音」(➔104)が「入」のとき BD-V ・176.4 kHz 以上の信号 BD-V ・著作権保護処理がされているディスク
	ダウンミックス マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックス(➔133)の方法を切り換えることができます。 ●「デジタル出力」(➔104)が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。	▶**ノーマル**:サラウンドに対応していない機器(テレビなど)に接続 ▶**ドルビーサラウンド**: 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能を有する機器に接続 以下の場合は、設定にかかわらず「ノーマル」で出力されます。 ・AVCHD 再生時 ・BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時
	二重放送音声記録 以下の場合、両音声を記録できません。記録する音声を選びます。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) への記録 ●「高速ダビング用録画」(➔103)が有効なとき ●「XP時の記録音声モード」(➔下記)を「LPCM」にして、録画モード「XP」での記録 ●「外部入力の音声」(➔下記)が「二重音声」の場合	▶**主音声** ▶**副音声**
	XP時の記録音声モード 録画モードが「XP」での記録時、音声を選びます。	▶Dolby Digital ▶LPCM: ・画質は少し下がります。 ・「XP」以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」(➔上記)であらかじめ選んでください。
	外部入力の音声 外部入力(L1 または L2)からの録画時、音声の種別を選びます。	▶**ステレオ** ▶**二重音声**:二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」(➔上記)で音声をあらかじめ選んでください。(「高速ダビング用録画」(➔103)が「入」のときは、選んだ音声のみ記録)
	DV入力時の音声設定 i.LINK(DV入力 /TS)端子からの録画時、音声の種類を選びます。	▶**ステレオ 1**:録画時の音声(L1、R1) ▶**ステレオ 2**:編集などであとから追加した音声(L2、R2:ナレーションなど) ▶MIX:ステレオ1とステレオ2の音声 二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」(➔上記)で音声をあらかじめ選んでください。
画面設定	**画面表示動作〔オート〕** 操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。	▶**入** ▶**切**
	地上アナログ時の ブルーバック 地上アナログ放送の受信信号が弱いとき、画面背景を表示しないようにします。	▶**入** ▶**切**
	テレビ画面の焼き付き低減機能 通常は「入」に設定しておくことをおすすめします。 「入」に設定すると、以下のような動作を行います。 ●10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。 ●黒帯部分を明るくします。 [D 端子または HDMI 端子と接続して、「D端子出力解像度」(➔106)が「D3」「D4」のときや「HDMI出力解像度」(➔106)が「480p」以外のとき]	▶**入** ▶**切**
	本体表示窓の明るさ 本体表示窓の明るさを調節します。	▶**常時 明** ▶**常時 暗** ▶**オート**:再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 ・電源「切」時の消費電力の節電になります。 **(電源「切」時の消費電力 ➔136)**
	SD カード LED 制御 SD カードスロットの上にあるランプの点灯方法を設定します。	▶**常時点灯** ▶**常時消灯** ▶**カード入点灯**:電源「入」時に、SD カードを入れると点灯します。

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

メニュー	設定項目		設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
テレビ／機器／Wooo リンクの接続	Wooo リンク設定		→[決定]を押して、さらに設定します。
	Wooo リンク (HDMI) 設定		→[決定]を押して、さらに設定します。
	Wooo リンク制御 Wooo リンクに対応した機器とHDMI 端子と接続時、連動操作の設定をします。		▶入 ▶切：Wooo リンクを使わないとき
	TVアスペクト 接続したテレビに合わせて設定します。		▶4:3　：4:3 標準テレビ ▶16:9　：ワイドテレビ ▶16:9フル：ワイドテレビで、左右の黒帯をなくして表示
	HDMI接続		→[決定]を押して、さらに設定します。
	HDMI映像優先モード		▶入 ▶切：アンプなどの機器とHDMI端子と接続し、テレビとD端子と接続するとき（アンプと接続する前に設定してください）
	HDMI出力解像度 接続した機器が対応している項目には、画面上に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、本体の[■停止]と[▶ 再生]を5秒以上押したままにしてください。「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。		▶オート　：1080p、1080i、480p の順で接続した機器に適した解像度を自動で選択します。 ▶480p ▶1080i ▶720p　：720p の映像以外は、1080i で出力されます。 ▶1080p アンプと接続する場合、アンプが設定した解像度に非対応のときは、正しく出力できません。その場合は、本機とテレビをHDMI端子と接続し、アンプとはHDMI以外の端子と接続してください。
	24p 出力 BD-V DVD-V 映画など24p記録された素材を24p出力します。 ●24p に対応したテレビのHDMI 端子に接続したときのみ「入」にできます。 ● DVD-V この設定を「入」にして、再生設定「24p」(➜51)を「入」にすると 24p 出力します。		▶入：24p 素材をそのまま 24p で出力 [「HDMI 出力解像度」(➜上記)が「オート」または「1080i」、「1080p」のときに有効] 24 p 出力時は、HDMI 端子以外の端子からは正しく出力されないことがあります。24p 以外の素材は BD-V の場合 60i または 60p で、DVD-V の場合 24p で出力されます。 ▶切
	HDMI RGB出力レンジ RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）との接続時に有効		▶スタンダード ▶エンハンス：映像の黒白が鮮明でないとき
	HDMI音声出力		▶入 ▶切：テレビとHDMI端子と接続し、HDMI非対応のアンプなどとデジタル音声出力端子と接続するとき
	D端子出力解像度(➜準備編 27)		▶D1　▶D2　▶D3　▶D4 ●「D4」に設定すると、720pの映像以外は、1080i で出力されます。 ●設定を変更して映像が乱れた場合は、本体の[■ 停止]と[▶ 再生]を5秒以上押したままにしてください。「D1」に設定されます。
	TVアスペクト(4:3)の設定 4:3テレビに接続時、16:9映像の映しかたを選びます。	DVD-Videoの16:9 映像	▶パン & スキャン：左右の切れた映像で再生（パン & スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生） ▶レターボックス：上下に帯のある映像で再生
		録画ディスクの16:9 映像	▶スルー　：録画された映像のままで再生 ▶パン & スキャン：左右の切れた映像で再生 ▶レターボックス：上下に帯のある映像で再生 HDD DR モードの番組は、レターボックスで再生します。
	i.LINK機器モード設定 i.LINK（DV入力/TS）端子に接続した機器に合わせて設定します。		▶DV モード　：DV機器 ▶TS モード 1：i.LINK（TS）に対応する当社製ブルーレイディスクレコーダー ▶TS モード 2：i.LINK（TS）に対応する CATV デジタルセットトップボックスまたは当社製テレビ （「TS モード 1」に設定する機器もあります。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください） ●「クイックスタート」(➜102) を「入」にしてください。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
ネットワーク通信設定	IP アドレス /DNS 設定(➜準備編 36)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	接続テスト	——
	IPアドレス自動取得	▶する ▶しない
	IPアドレス	–––.–––.–––.–––
	サブネットマスク	–––.–––.–––.–––
	ゲートウェイアドレス	–––.–––.–––.–––
	DNS-IP自動取得	▶する ▶しない
	プライマリDNS	–––.–––.–––.–––
	セカンダリDNS	–––.–––.–––.–––
	接続速度自動設定	▶オン ▶オフ
	接続速度設定 「接続速度自動設定」(➜上記)が「オフ」時のみ有効	▶10BASE 半二重 ▶10BASE 全二重 ▶100BASE 半二重 ▶100BASE 全二重
	MAC アドレス	
	プロキシサーバー設定(➜準備編 37)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	標準に戻す	▶はい ▶いいえ
	プロキシアドレス	(初期値は空欄)
	プロキシポート番号	(初期値は 0)
	接続テスト	——
	ホームサーバー機能設定 (➜準備編 38) DLNA 対応機器から操作するための設定をします。	→[決定]を押して、さらに設定します。
	ホームサーバー機能 ホームサーバー機能の設定をします。	▶入 ▶切:ホームサーバー機能を使わないとき ●「入」に設定すると、以下の設定は自動的に「入」になります。 ・「クイックスタート」(➜102)
	(MAC アドレス) 本機を操作できる DLNA 対応機器を登録します。	→[決定]を押して、さらに設定します。 ●登録された機器には「許可」が表示されます。 ●すでに登録されている機器を選んだ場合、その機器の登録削除ができます。

本機の設定を変える(初期設定)(つづき)

デジタル出力される音声と接続・設定の関係 [表内の ch(チャンネル数)は最大チャンネル数を表示]

<table>
<tr><td>接続端子</td><td colspan="4">HDMI 端子</td><td colspan="4">デジタル音声出力端子</td></tr>
<tr><td>「デジタル出力」の設定</td><td colspan="2">Bitstream ※1</td><td colspan="2">PCM ※3</td><td colspan="2">Bitstream</td><td colspan="2">PCM</td></tr>
<tr><td>「BD ビデオ副音声・操作音」の設定</td><td>入※2</td><td>切</td><td>入</td><td>切</td><td>入</td><td>切</td><td>入</td><td>切</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX ※5</td><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX ※6</td><td rowspan="7">オリジナルの音声で出力</td><td colspan="2">5.1ch</td><td colspan="2">Dolby Digital
Dolby Digital EX ※6</td><td colspan="2" rowspan="7">ダウンミックス 2 ch</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus</td><td rowspan="2">Dolby Digital</td><td rowspan="2">5.1ch ※2</td><td rowspan="2">7.1ch</td><td colspan="2" rowspan="2">Dolby Digital</td></tr>
<tr><td>Dolby TrueHD</td></tr>
<tr><td>DTS Digital Surround
DTS-ES ※5</td><td>DTS Digital Surround
DTS-ES ※6</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch ※4</td><td colspan="2">DTS Digital Surround
DTS-ES ※6</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High Resolution Audio</td><td rowspan="2">DTS Digital Surround</td><td colspan="2" rowspan="2">7.1ch ※4</td><td colspan="2" rowspan="2">DTS Digital Surround</td></tr>
<tr><td>DTS-HD Master Audio</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td>ダウンミックス 5.1ch
PCM</td><td>ダウンミックス
5.1ch ※2</td><td>7.1ch</td><td colspan="2">ダウンミックス2 ch
PCM</td></tr>
</table>

※ 1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM (例:テレビなど)で出力します。

※ 2 BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」(➔**104**) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※ 3 接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※ 4 BD-V 接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に拡張して出力します。

※ 5 PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD に記録された DTS-ES は DTS Digital Surround として、BD に記録された DTS-ES は DTS-ES としてデコードした PCM 音声になります。

※ 6 BD-V **初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS-ES は DTS Digital Surround の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。